

年 組 名前：

問1

2024年に山梨県内で生産されたミネラルウォーターは、前年より減少しました。その原因を、協会の担当者はどのように分析していますか。

.....

.....

.....

問2

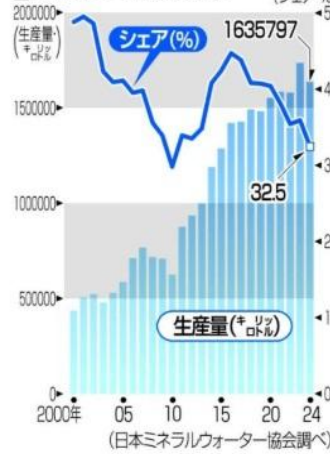
ミネラルウォーター生産量の上位3県とそのシェア率を教えてください。

1位:.....(%)

2位:.....(%)

3位:.....(%)

山梨県のミネラルウォーター生産量と全国シェア



全国の生産量は502万9504千本で、初めて500万本を超えた。全国的に増加傾向は続いていて、21〜23年の全国の生産量は前年より7.9%増えた。ただ、24年は4.1%増にとどまり、25年上半期も前年を下回るペースで、「増加の勢いは鈍化傾向にある」（協会担当者）という。

日本ミネラルウォーター協会のまとめによると、2024年に山梨県内で生産されたミネラルウォーターは23年より5.7%減の163万5797千本で、22年以降の減少となった。都道府県別のシェアは32.5%で全国トップを維持した一方、23年より3.4%減った。協会担当者は「山梨には多くのメーカーがあり、値上げの影響で生産量が減った可能性がある」と分析した。協会によると、24年は過去最多だった23年の173万5275千本より9万9478千本減った。都道府県別シェアは山梨がトップで、2位の静岡県が23年より2.8%増の12.1%、3位の岐阜県が1.6%増の10.5%だった。山梨のシェアは20年に40.4%となり4割を超えたが、21年以降は3割台となっている。

県産ミネラル水 5.7%減

24年生産値上げ影響か

山梨に工場を持つサントリー食品インターナショナルは昨年10月、ミネラルウォーター「サントリー天然水」を値上げし、富士ミネラルウォーターも昨年9月に一部商品値上げした。協会担当者は「山梨はNBを販売するメーカーが多く立地し、値上げに伴う販売、生産の減少による影響を受けやすいのではないか」との見方を示した。（雨宮文貴）

ミネラルウォーターは、メーカーが主体となり製造と全国販売をする「ナショナルブランド（NB）」と、小売りや流通業者主体で製造して自店舗販売する「プライベートブランド（PB）」がある。協会の集計には、PB商品は入っていない。

担当者は「ミネラルウォーター全体の生産自体は増加が続いている」としつつ、「ほかの飲料に比べNBとPBの商品で質の差がつきにくく、売り上げは価格の影響を受けやすい」と指摘する。

(2025年10月27日付 山梨日日新聞1面)

問3

ミネラルウォーターに限らず、いろんな商品で使われる「NB」と「PB」について、説明して下さい。

・NB:.....

・PB:.....

問4

ミネラルウォーター生産の生産は、山梨県にとって、とても大切な産業です。減少ではなく、増加させるには、どのような対策が必要であると、あなたは考えますか。自由に教えてください。

.....

.....